

【2025 SyDE 自主企画研修 実施報告】2024 年 5 月 10 日～2025 年 5 月 25 日

2024 年 7 月 14 日に開催された「学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2024」において、『自然災害の仕組みを知ろう！～これで君も実験博士～』と題した体験型展示を企画・実施しました。

展示では、津波・地震・火山・防災マップを主題とした 4 つのブースを設け、来場した子どもたちや保護者に向けて災害をテーマとした実験や体験学習を提供しました。津波のブースでは津波造波水槽を用いて、津波の発生・伝播・浸水の様子を視覚的に理解してもらいました。建物の揺れを扱った地震ブースでは、構造の違いによる揺れの増幅を、模型や工作を通じて体感してもらいました。火山ブースでは、2021 年の福島第一原子力発電所事故による軽石災害をテーマとし、実際の軽石を使った浮力の実験や海底地形の模型を展示しました。防災マップブースでは、来場者が自宅周辺のハザードマップを用いて災害リスクを視覚的に把握し、避難経路を考えるワークショップを行いました。

当日は多くの親子連れが来場し、体験を通じて自然災害の起きる仕組みを楽しくわかりやすく学んでもらうことができたと考えています。また、サイエンス・デイ・オブザイヤー 2024 にもエントリーし、本企画の意義を 1 分間のプレゼンテーションで発表しました。さらに、体験型学習によるアウトリーチの効果を測定するためのアンケート調査も実施し、その結果は日本地球惑星科学連合 2025 年大会 (JpGU2025) にてポスター発表を行いました。

この企画を通じて、来場者の防災意識向上に寄与したとともに、私たちも自身の専門分野を社会に伝える方法について多くのことを学ぶことができました。

喜多倅子（理学研究科地学専攻・D2）・増田英敏（理学研究科地学専攻・D2）・齋藤隼輝（工学研究科量子エネルギー工学専攻・D2）・菅井理一（工学研究科土木工学専攻・D2）・浮田泰成（理学研究科地学専攻・D2）



長周期振動器を用いた実験の様子



JpGU2025 における発表の様子